

委員会評価報告書

事業名	朝倉文夫記念館自主事業（令和2年度実施）				
担当課・室・係	まちづくり推進課 朝倉文夫記念館係				
事業の目的	朝倉文夫の顕彰のため、資料調査を行うとともに、その業績を伝える。また、当市の文化振興に寄与するため、各種展覧会を開催し、市民が芸術に触れる機会の拡充に努めるとともに、創作活動に取り組んでいる市民の作品発表の場として文化活動を支援し、内外に発信する。				
事業の概要	<p>①展覧会事業・・・朝倉文夫や兄弟の彫刻作品を展示し、文化ホールでは市内外の作家による個展、グループ展、大分県美術協会との共催事業等、各種展覧会を開催する。</p> <p>②教育普及事業・・・朝倉の小作品等を持ち出し、鑑賞機会を提供する「外に出る美術館事業」の実施。また、大分アジア彫刻展の開催時期に合わせ、市内の小学4年生、中学1年生を招待する「市内小中学生招待事業」を隔年実施。</p> <p>③調査研究事業・・・朝倉文夫やその兄弟の作品に関する調査及び文献資料調査を行い、その結果を小冊子にして発行する。</p>				
事業結果に対する評価	A きわめて良好	<input checked="" type="checkbox"/> B 良 好	C おおむね適正	D 問題がある	E かなり問題
<p>【問題点など】</p> <p>市内には多くの団体や個人が文化活動を行っていて、優れた芸術文化の鑑賞機会を得る「本物」に触れることができるという点においては、きわめて重要である。</p> <p>ただし、地理的に不利な立地で入場者の増加が見込めていない現状で、対策案も講じづらい状況である。</p>					
事業の今後の方向性	1 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 2 継 続	3 改 善	4 縮 小	5 休 止・廃 止
<p>【提言など】</p> <p>芸術の鑑賞機会の確保と、本物の文化に触れるという点では本市にとって重要な財産である。</p> <p>東京都台東区の朝倉彫塑館との連携や、広範囲に個展の開催、各種イベントの実施などを積極的に取り組み、入場者の増加を図ること。</p> <p>同趣旨であるが、現地でワークショップの機会を増やすなどして「人」を育て、活かすという方向性も強化すること。</p>					